

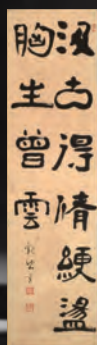
生誕の地、瀬高 ～書道教育を通して拡げた輪～

福岡県南部を流れる清流矢部川。その流域に位置するみやま市(旧瀬高町)が生んだ書家であり教育家、原田観峰(本名:孝太郎、1911-1995)は、のちに国内最大級の書道団体「日本習字」となる「西日本書道通信学会」を創立しました。

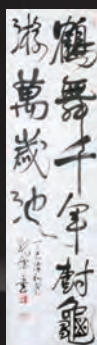
没後30年を迎える本年、観峰の原点や、書を通して人々の心に刻まれた面影を書作品とともに故郷のみやま市で振り返ります。

展示する書作品は、観峰が東京時代に揮毫したものから、日本習字創立後に講座で全国各地へ駆け巡っていたころまでの作品を中心に、故郷の瀬高や創立の地、柳川を題材とした作品も含めて約40点を展示します。

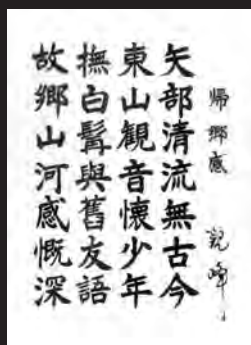
観峰が生まれ育った瀬高から書道を通して拡げた「輪」を、五感で体感しよう。



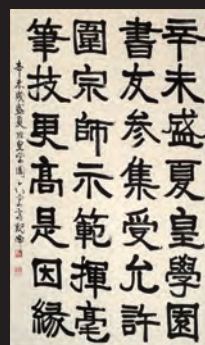
執筆年:昭和25年
(観峰39歳)



昭和52年
(観峰66歳)



昭和55年頃
(観峰69歳頃)



平成3年
(観峰80歳)

会期

令和7年6月28日[土]～6月29日[日]

会場

みやま市総合市民センター(MIYAMAX)多目的ホールほか
福岡県みやま市瀬高町下庄792番地1

内容

- 1.原田観峰回想コーナー
- 2.原田観峰書作品展示(約40点)
- 3.日本習字初期の手本展示
- 4.みやま市の日本習字教室による作品展
- 5.日本習字職員による揮毫パフォーマンス
- 6.福岡県立山門高等学校書道部による書道パフォーマンス
- 7.特別講座(事前申込制)
- 8.書道体験コーナー(写経ほか)
- 9.文字探しゲーム(全部見つけてカプセルトイにチャレンジ☆)

開場

28日[土]:10時～17時(最終入場:16時30分)
29日[日]:10時～15時30分(最終入場:15時)

入場料

無料

展覧会詳細はこちら▶



催事スケジュール

6月28日(土)		6月29日(日)	
10:00	開場	10:00	開場
11:00～11:30	職員による揮毫パフォーマンス	11:00～11:30	職員による揮毫パフォーマンス
		13:00～14:00	特別講座(事前申込制)
14:30～15:00	山門高校書道部による書道パフォーマンス	14:15～14:45	職員による揮毫パフォーマンス
17:00	閉場	15:30	閉場

プレゼント
企画

各日先着100名様に本展限定オリジナルノベルティプレゼント!

特別講座

「書道教育を通して拡げた輪～日本習字が産声を上げるまで～」

講師:古賀静光(公益財団法人日本習字教育財団理事)

日時:6月29日(日)13:00～14:00/会場:みやま市総合市民センター 会議室1

内容:書家の礎となった青年時代を経て、戦後、教育書道の普及という生涯の目標へ歩み出すまでの「観峰先生の書への関わり」を当時の学校教育の考え方とともに、書き残された作品から紐解きます。

申込方法:メールまたは電話にて事前予約要。メールは右記の二次元コードからお申し込みください。

電話は下記「問い合わせ先」にお電話ください。

先着50名(事前申込制)・参加無料

※本紙がお手元に届いた時点で、お申し込みを締め切っていた場合はご了承ください。



古賀静光



▼主催・お問い合わせ先

公益財団法人日本習字教育財団 没後30年企画係

TEL.092-721-4774 (平日 9時～17時)

e-mail:ns_kikaku@nihon-shuji.or.jp

後援:みやま市、みやま市教育委員会